



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年1月30日

上場会社名 コタ株式会社 上場取引所 東証プライム市場
コード番号 4923 URL <https://www.cota.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小田 博英
問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画部長 (氏名)山崎 正哉 TEL (0774)44-4923
四半期報告書提出予定日 2023年2月2日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の業績 (2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,076	0.8	1,917	△10.4	2,007	△7.1	1,479	△1.8
2022年3月期第3四半期	7,023	21.1	2,140	38.9	2,161	38.6	1,507	39.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	62.49	—
2022年3月期第3四半期	64.73	64.59

(注) 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	13,638	10,571	77.5
2022年3月期	13,084	9,540	72.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 10,571百万円 2022年3月期 9,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,800	1.3	1,980	△8.0	2,074	△4.8	1,519	9.0	64.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	27,218,730株	2022年3月期	27,218,730株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	3,541,992株	2022年3月期	3,530,618株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	23,680,581株	2022年3月期3Q	23,282,488株

(注) 当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、2022年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を行っております。

前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

なお、添付資料P. 8「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項（重要な後発事象）」に記載のとおり、当社は2023年4月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を予定しておりますが、「3. 2023年3月期の業績予想」に記載している1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮しておりません。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合の1株当たり当期純利益は、58円52銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う行動制限の緩和や政府の観光支援策の影響から社会経済活動に回復の兆しが見えた一方、新規感染者数再拡大に加え、原材料価格の高騰等による物価の上昇や円安の進行等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

美容業界におきましては、美容室経営の二極化が進んでおり、多くの美容室では来店客数の減少や客単価の伸び悩み等、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社におきましては「女性は髪からもっと美しくなれる」というコーポレートスローガンのもと、美容室でのカウンセリングを通じて、来店客に対して付加価値の高いヘアケア提案を行いました。特に、ヘアケアの基本であるシャンプー及びトリートメントの主力ブランドである「コタ アイ ケア」を中心に美容室での販売を推進することで、多くの「女性のキレイ」を髪から応援しております。また、創業精神である「美容業界の近代化」をベースに、独自のビジネスモデルである「トイレタリーの販売を中心とした店販戦略」と「旬報店システムを軸としたコンサルティング・セールス」を引き続き展開いたしました。コロナ禍におきましても、お取引先美容室に対して、対面とオンラインによる営業活動を通じて徹底的に寄り添い、業績向上に向けた提案や経営に関する支援を行いました。

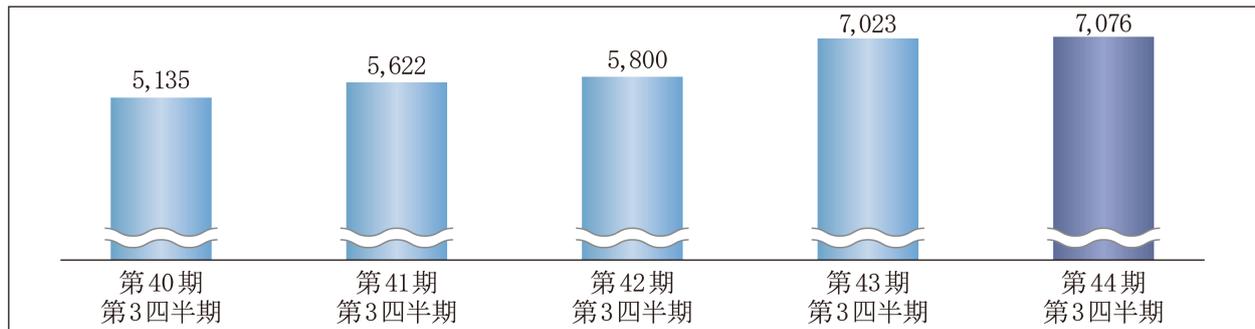
売上高につきましては、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」の販売が堅調に推移したことに加えて、2022年5月に発売した育毛剤「コタエイジング グロウセラム」や2022年9月に発売した整髪料「コタスタイリング ルミテックス」の販売も好調であったこと、2022年11月から12月にかけて開催した当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」の結果も堅調であったことから、前年同四半期を上回りました。

また、売上原価につきましては、原材料費の上昇等がありましたが、引き続き原価管理の見直し等を行っていることから、売上原価率は前年同四半期とほぼ同等になりました。販売費及び一般管理費につきましては、営業活動や物流に係る費用の増加、2022年6月に竣工した「COTA KYOTO L a b (研究開発施設)」に関連する費用を計上したことにより、前年同四半期を上回りました。営業外収益につきましては、前述の「COTA KYOTO L a b (研究開発施設)」建設に対する補助金収入(98百万円)を、特別利益につきましては、前事業年度において特別損失に計上した「コタ アイ ケア」の一部ロットの自主回収に係る関連費用引当金の戻入益(32百万円)をそれぞれ計上しております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,076百万円(前年同四半期比0.8%増)、営業利益は1,917百万円(前年同四半期比10.4%減)、経常利益は2,007百万円(前年同四半期比7.1%減)、四半期純利益は1,479百万円(前年同四半期比1.8%減)となりました。

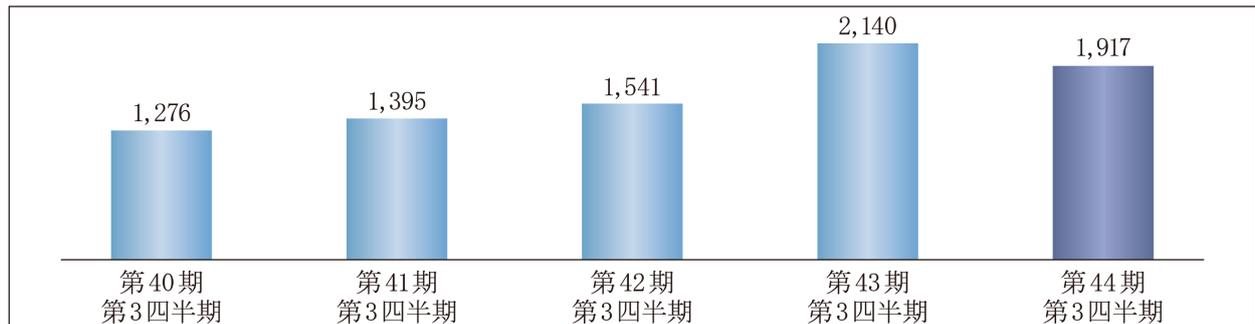
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



経常利益

(単位:百万円)



四半期純利益

(単位:百万円)



なお、当社は美容室向けの頭髪用化粧品及び医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っておりませんが、売上高の内訳は、以下のとおりであります。

区分	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
トイレタリー	5,751	77.0	5,357	71.1	△394	△6.9
整髪料	1,092	14.6	1,288	17.1	196	17.9
カラー剤	237	3.2	225	3.0	△11	△4.9
育毛剤	218	2.9	502	6.7	284	130.3
パーマ剤	80	1.1	82	1.1	1	2.3
その他	88	1.2	79	1.0	△9	△11.0
小計	7,468	100.0	7,535	100.0	66	0.9
売上高控除	△445	—	△458	—	△13	—
合計	7,023	—	7,076	—	53	0.8

当社は、2つのミッションである「世の中の美容室を一軒でも多く近代経営に導く」と「世の中の女性を一人でも多く髪から美しくする」を実現するために、トイレタリーの販売を中心とした「店販」を推進しながら、美容室の経営改善システムである「旬報店システム」を軸とした美容室の経営コンサルティング(コンサルティング・セールス)を展開することで、成長・繁栄につながるさまざまな提案を美容室に行っております。

そのため売上高に占めるトイレタリーの割合は、同業他社に比べ高いことが特徴であります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期会計期間の総資産は、前事業年度から553百万円増加し、13,638百万円となりました。

主な要因としては、現金及び預金が695百万円減少し、受取手形及び売掛金が591百万円、有形固定資産が461百万円、商品及び製品が136百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間の負債は、前事業年度から477百万円減少し、3,067百万円となりました。

主な要因としては、流動負債のその他が308百万円増加し、未払金が711百万円、賞与引当金が128百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間の純資産は、前事業年度から1,031百万円増加し、10,571百万円となりました。

主な要因としては、利益剰余金が1,049百万円増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は、77.5%(前事業年度72.9%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間におきましては、店販戦略の主力である「コタ アイ ケア」の販売が堅調に推移し、2022年5月に発売した育毛剤「コタエイジング グロウセラム」や2022年9月に発売した整髪料「コタスタイリング ルミテックス」の販売も好調であったこと、2022年11月から12月にかけて開催した当社製品の販売コンクールである「コタ全国店販コンクール」の結果も堅調であったことから、増収に転じました。

引き続き「コタ アイ ケア」ならびに「コタクチュール」を中心としたトイレタリーの需要増加等を見込んでいるものの、当初の売上計画には到達しない見通しであることから、2022年5月9日に公表いたしました2023年3月期の通期業績予想を本日(2023年1月30日)付で修正いたしました。詳細につきましては、同日付で公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,819,221	5,123,283
受取手形及び売掛金	1,401,009	1,992,764
有価証券	—	100,000
商品及び製品	847,935	984,913
仕掛品	50,425	58,823
原材料及び貯蔵品	398,388	476,075
その他	45,914	73,131
貸倒引当金	△23	△86
流動資産合計	8,562,872	8,808,906
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,345,512	2,297,845
土地	1,303,955	1,312,039
その他(純額)	937,548	438,212
有形固定資産合計	3,587,016	4,048,096
無形固定資産	65,866	89,635
投資その他の資産	869,238	692,195
固定資産合計	4,522,121	4,829,927
資産合計	13,084,993	13,638,833
負債の部		
流動負債		
買掛金	170,299	242,410
未払金	858,627	147,231
未払法人税等	477,335	445,082
賞与引当金	256,370	128,124
役員賞与引当金	—	30,226
製品自主回収関連費用引当金	90,499	—
その他	453,852	762,498
流動負債合計	2,306,984	1,755,573
固定負債		
退職給付引当金	240,322	241,304
役員退職慰労引当金	629,441	683,849
資産除去債務	215,313	215,619
長期預り保証金	152,900	171,200
固定負債合計	1,237,976	1,311,973
負債合計	3,544,961	3,067,546
純資産の部		
株主資本		
資本金	387,800	387,800
資本剰余金	642,346	642,350
利益剰余金	11,185,739	12,234,839
自己株式	△2,677,732	△2,694,799
株主資本合計	9,538,152	10,570,191
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,061	1,094
評価・換算差額等合計	1,061	1,094
新株予約権	818	—
純資産合計	9,540,032	10,571,286
負債純資産合計	13,084,993	13,638,833

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	7,023,591	7,076,933
売上原価	1,957,581	1,979,412
売上総利益	5,066,009	5,097,520
販売費及び一般管理費	2,925,117	3,180,311
営業利益	2,140,892	1,917,208
営業外収益		
受取利息	2,091	2,017
受取配当金	1,774	2,177
受取賃貸料	3,294	396
受取手数料	4,352	—
補助金収入	—	98,234
業務受託料	7,200	7,200
その他	7,663	6,535
営業外収益合計	26,376	116,561
営業外費用		
賃貸費用	920	—
支払手数料	48	23,148
固定資産除却損	1,414	2,426
その他	3,680	751
営業外費用合計	6,063	26,326
経常利益	2,161,205	2,007,443
特別利益		
製品自主回収関連費用引当金戻入額	—	32,830
特別利益合計	—	32,830
税引前四半期純利益	2,161,205	2,040,274
法人税、住民税及び事業税	573,674	447,343
法人税等調整額	80,342	113,137
法人税等合計	654,017	560,480
四半期純利益	1,507,187	1,479,793

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は美容室向けの頭髪用化粧品及び医薬部外品の製造、販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得及び自己株式の公開買付け)

当社は、2022年11月17日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項及び当社定款の規定に基づき、自己株式の取得及びその具体的な取得方法として自己株式の公開買付けを行うことを決議し、自己株式を取得いたしました。

1. 買付け等の目的

当社は、2022年6月下旬、当社の第1位の大株主であり創業家の資産管理会社である株式会社英和商事より、その保有する当社普通株式の一部である330,000株(発行済株式総数に対する割合:1.39%)を売却する意向がある旨の連絡を受けました。

これを受け、当社は一時的にまとまった数量の株式が市場に放出されることによる当社普通株式の流動性及び市場価格に与える影響、並びに当社の財務状況等を総合的に鑑み、2022年7月上旬より売却意向株式を取得することについての具体的な検討を開始いたしました。

その結果、2022年9月上旬、当社が売却意向株式を取得することは、当社の1株当たり当期純利益(EPS)の向上や自己資本当期純利益率(ROE)等の資本効率の向上に寄与すること、また、かかる売却意向株式の取得を行った場合においても、当社の財務健全性及び安全性は今後も維持でき、配当方針にも影響を与えない見込みであることから、かかる売却意向株式の取得が株主の皆様に対する利益還元につながるものと判断いたしました。

また、自己株式の具体的な取得方法につきましては、株主間の平等性、取引の透明性の観点から十分に検討を重ねた結果、公開買付けの手法が適切であると判断いたしました。

2. 自己株式の取得に関する取締役会決議の内容

(1) 取得する株式の種類	普通株式
(2) 取得する株式の総数	363,100株(上限)
(3) 取得価額の総額	520百万円(上限)
(4) 取得する期間	2022年11月18日から2023年1月31日まで

3. 公開買付けの概要

(1) 買付け等の期間	2022年11月18日から2022年12月19日まで(21営業日)
(2) 買付け等の価格	1株につき金1,433円
(3) 買付け予定数	363,000株
(4) 公開買付け開始公告日	2022年11月18日
(5) 決済の開始日	2023年1月13日

4. 本公開買付け等の結果

2023年1月13日付けで、普通株式330,110株(473,047千円)を取得いたしました。

（株式分割）

当社は、2023年1月30日開催の取締役会において、株式の分割及び株式分割に伴う定款の一部変更に関して下記のとおり決議いたしました。

1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の割合及び時期

2023年4月1日付をもって2023年3月31日（金曜日）最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、1.1株の割合をもって分割いたします。ただし、分割の結果生ずる1株未満の端数株式は、これを一括売却又は買受けし、その処分代金を端数の生じた株主に対し、その端数に応じて配分いたします。

(2) 分割により増加する株式数

2023年3月31日（金曜日）最終の発行済株式総数に0.1を乗じた株式数といたします。ただし、計算の結果1株未満の端数株式が生じた場合は、これを切捨てることといたします。

株式分割前の当社発行済株式総数	27,218,730株
今回の分割により増加する株式数	2,721,873株
株式分割後の当社発行済株式総数	29,940,603株
株式分割後の発行可能株式総数	90,386,733株

3. 日程

基準日公告日	2023年3月16日（木曜日）
基準日	2023年3月31日（金曜日）
効力発生日	2023年4月1日（土曜日）

4. 当該株式分割が前事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報及び当事業年度の開始の日に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりとなります。

項目	前第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
1株当たり四半期純利益	58円85銭	56円81銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	58円72銭	—

- (注) 1 前第3四半期累計期間の1株当たり四半期純利益は、2022年4月1日付の株式分割（1：1.1）及び2023年4月1日付予定の株式分割（1：1.1）が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。
- 2 当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5. 定款の一部変更について

(1) 定款変更の目的

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づく取締役会決議により2023年4月1日付をもって当社定款の一部変更を行います。

(2) 変更の内容

変更の内容は、次のとおりであります。

(下線部分に変更箇所)

現 行 定 款	変 更 後
<p>(発行可能株式総数)</p> <p>第6条 当社の発行可能株式総数は、 82,169,758株とする。</p>	<p>(発行可能株式総数)</p> <p>第6条 当社の発行可能株式総数は、 90,386,733株とする。</p>
<p>(附則)</p> <p>第1条 (条文省略) (新設)</p>	<p>(附則)</p> <p>第1条 (現行どおり)</p> <p>第2条 <u>第6条の変更の効力発生日は、</u> <u>2023年4月1日とする。なお、</u> <u>本附則は効力発生日をもって</u> <u>削除する。</u></p>